

農業日和

第41号
発行: 修明高校農業クラブ
令和4年11月14日

収穫の秋

十一月も半ばを迎え、朝晩の冷え込みが一層強まり、秋の深まりを感じる季節になりました。クラブ員の皆さんは体調を崩してはいませんか？ この時期、農作物は秋の収穫時期を迎えます。イネは刈り取りを終え、出荷の準備をしています。

三年生にとって、先月は「勝負の十月」でした。就職希望者はこれまでの学校生活に加え、取り組んできたSPIや面接等の練習の成果を発揮し、その結果がまさに今届いてきています。進学希望者も志願理由をまとめ、面接練習等に一生懸命取り組んでいます。進路が決定する大切な時期はこれからも続きます。

本号には、農業鑑定競技全国大会の結果と、この一ヶ月程の実習を中心に掲載しました。

イネが最も成熟して収穫されたように、三年生をはじめクラブ全員が学校生活を充実させ、希望進路実現となるよう、今後の活動への意識付けをしてほしいです。



農業と環境の圃場では、ハクサイがもう少しで収穫時期を迎えます。



第73回日本学校農業クラブ全国大会北陸大会でのシンボルマークとマスコットキャラクター「マイマイ」です。

この「農業日和」は、私が7年前に農ク役員たちと作り始めました。今では当初よりも随分立派になり、きっと県内一だと思います。「農業日和」の発行の目的は農ク活動の活性化にあります。今年は大大会でも今までにない良い成績が残せています。一步一步、修明高校農業クラブが活発になっている証拠です。

農場長からの
ありがたいお言葉

農業鑑定競技全国大会 結果発表！

農業クラブ

堀吉成くん(2-2)と松本真依(3-3)さん 全国大会で大健闘！！

10月25日(火)～27日(木)にかけて第73回日本学校農業クラブ全国大会北が北陸三県(石川・富山・福井)にて開催されました。農業鑑定は福井県産業会館で、25日はリハーサル、26日に農業鑑定競技本番、27日に結果発表という日程で開催されました。これまで二人は、県大会後から、全国大会に向けて学習に励む姿が見られました。

全国大会では県大会よりも多い人数の生徒が参加し、誰もが最優秀賞を目指して取り組みます。県大会とは比べ物にならないほどの緊張感の中、二人は全国大会に挑みました。

結果は、堀くん(2-2)が見事優秀賞を修めました！松本さん(3-3)は惜しくも入賞を逃してしまいましたが、二人とも日々の勉強の成果を十分に発揮できました。

総合実習や農業科目の座学での多くの学びを生かして農業クラブの各種大会に出場した生徒が沢山います。1, 2年生にも無限の可能性があるので積極的に参加して農業クラブを盛り上げてほしいと思いま



小中学生体験学習！

農業科

10月4日(火)に生産流通科草花班と高野小学生、10月21日(金)に食品科学科実験乳加工班と東中学生との小中学生体験学習が行われました。

それぞれ、普段とは違い、教わる立場から教える先生の立場に立った生徒たちでしたが、小学生や中学生に分かりやすく説明していたり、実習の手順を教えていました。

先生方も生徒の意外な一面を見ることができ、驚き半分、嬉しさ半分と話していたとか、いないとか...

高野小学校から参加後、感謝の手紙が届き、生徒たちの教え方が上手だったことや実習の楽しさが各々の言葉で書いてありました。先生方も普段の授業で教えていることが活かされていると感じていました。

ただ単に授業を受ける(インプットする)、だけでは



<緑川雄太先生からのコメント>
10月4日(火)に高野小学校2年生との体験学習で多肉植物の寄せ植えを行いました。様々な色や形の植物をバランスよく、植えることに苦戦していましたが、楽しく活動できたように感じました！



<矢吹弥沙紀さん(3-3)からのコメント>
10月21日(金)に東中学校の2年生が実習体験を行いました。加工品の製造工程や実際にやっている実習を体験していただきました。高校生と中学生と一緒に実習する機会はほとんどないので、新鮮な気持ちになりました。とても楽しい1日でした☺



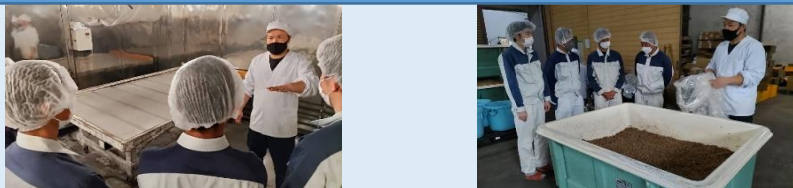
野菜班の取り組み！

野菜専攻班では、江川先生、安達先生、國井先生ご指導の下、持続可能な野菜栽培の実践として、GAPと特産品開発を行っています！

①GAPの実践としては、JGAP認証を3品目(トマト・リーフレタス・ミズナ)取得しています。GAP食材を利用した商品開発にも取り組み、白河市にある(株)ステラフーズ様とコラボしたピザの製作を行っています。



②農業廃棄物を利用した6次化商品開発として、通常廃棄される摘果メロンに着目し、地域の山口こうじ店様に加工を依頼し、「子メロンのみそ漬け」という6次化商品を完成させました。



③地域の特産品や食育活動として、在来品種の栽培、地域での普及拡大や白河市にある吉野家ファーム様と協働でスマート農業の実証についても実践しています。



修明高校産コシヒカリ 収穫！

修明高校で栽培していたコシヒカリを、10月13日(木)に収穫しました。地域の農家さんに協力していただき、コンバインで実際に収穫作業を行いました。普段乗ることのないコンバインですが、稲刈り作業には欠かせない機械です。コンバインでの収穫はあっという間に終わり、農業機械の偉大さを実感しました。刈り取ったコシヒカリは、乾燥機で乾燥させ、もみすりをを行い、玄米の状態です袋詰めします。別の日に袋詰めも体験し、30kgの玄米を袋詰めし運搬する作業は見た目以上に大変でした。学校のコシヒカリの収穫を通して、農業の偉大さ、大変さを再度認識できた良い機会となりました。



普段乗らないコンバインを操縦して、コンバインの力は偉大だなと感じました😊



🌸 棚倉幼稚園との連携事業 🌸

10月21日(金)に棚倉幼稚園と生物活用を選択している生徒との連携事業として、春に植えたラッカセイの収穫を行いました。当日は園児たちも楽しみにしていた収穫作業だったため、生徒たちは園児に付き添いながら、どうやって収穫したらうまくいかなど、園児の「どうして」「なんで」に答えている姿を見て、普段の学習が活かされているなど感じました。生徒からは、「もっと普段の学習に真剣に取り組んでいけば・・・」なんていう声も上がりました。



10月21日(金)に棚倉幼稚園の園児たちと一緒にラッカセイを収穫しました。普段の生活では小さい子供と関わることがなく、どう接したらいいのかわからなかったけど、園児の目線で話したり、分かりやすい口調でラッカセイの収穫の仕方を教えることができました。園児たちと協力してたくさんのラッカセイを収穫することができて、楽しかったです。(3-2千葉涼夏さんよりコメント)



※千葉さん代理

食品科学科の実習の取り組み

食品科学科の総合実習で製造している商品について紹介します！修明高校食品科学科では3班の専攻班に分かれています。

農畜産加工班

製菓製パン班

実験乳加工班

この3つの班に分かれて日頃の総合実習に取り組んでいます。今回はその中でも、**製菓製パン班**に焦点を当てて説明していきます！

製菓製パン班は食品科学科の赤崎舞南美先生、大河原晃男先生を中心に取り組んでいます。主な製品は下記のとおりです。
・マドレーヌ ・マーブルケーキ ・アンパン ・メロンパン ・食パン etc ...

現在の主な活動

現在行っているのは、生産流通科とコラボした商品の開発です。それぞれ、草花専攻班の「エディブルフラワー(食べられる花)」、野菜専攻班の「ホウレンソウ」と「ニンジン」、作物専攻班の「ナガイモ」を使って、試作品を製作中です。



次回特集

今回は白藍祭を振り返ったり、各種イベントや販売会について掲載する予定です！また、今月号では野菜専攻班と製菓製パン班の総合実習の取組について紹介しましたが、次回は「植物バイテク専攻班」「実験乳加工班」の取組についてご紹介します。

今後の予定

(状況により延期・中止等有)

- ・11月15日(火) 農業祭
- ・11月22日(火) マラソン大会
- ・11月23日(水)【祝日】 シクラメン販売会
- ・11月29日(火) 農業クラブ役員選挙
- ・11月30日(水)～12月6日(火) 2学期期末考査

か本
ら号
の作
一成
言者

今年も残りわずか！最近、学校生活や私生活、だらけていませんか？「これくらいいいや」ではなく、責任感を持った行動を心がけよう！

